

白鷹町の元気100歳



伊淵忠雄さん

安達よしゑさん(畔藤) 安部英蔵さん(下山)

伊淵忠雄さん(荒砥甲) 清野きみさん(萩野)

おめでとうございます

今年100歳(数え年)を迎えられる4人のかたがた(明治45年・大正元年生まれ)に、町からお祝いの打出の小づちと祝い金が贈られました。

本当におめでとうございます。

温かいご家族に見守られて過ごされている皆さんの笑顔はとても微笑ましく、何よりお元気な姿に大変驚かされました。

これからも明るく生き活きとお元気でお過ごしください。



安部英蔵さん



清野きみさん



安達よしゑさん

○子宮頸がん予防ワクチンについて
平成21年12月からはじまった子宮頸がんワクチン接種は、公費助成の動きとともに注目が集まっています。
私も高校2年生の娘を持つ親として、町の施策を大変興味深く期待しておりましたが、中学1年～高校1年の女子が対象との記事を読みました。一人でも多くの子どもたちに効果的なワクチン接種を考えますと、中学2年～高校2年の女子を対象にした方がより良いと感じております。中学1年～高校1年となった理由をお聞かせいただくとともに、今一度年齢的な線引きを再検討いただきたいと思います。
(匿名希望・女性)
※ほかにも同様のご意見をいただきました。



広報直通便

A 回答

平成22年2月1日から、町では国や県と協力して、子宮頸がん予防ワクチンの接種と費用の助成を開始しました。

子宮頸がんは、発症の数年から十数年前に感染したヒトパピローマウイルス(以下HPV)が原因となるがんです。このウイルスは、主に性交渉で感染し全女性の70～80%が一生に一度は感染すると推定されています。感染してもほとんどの場合は、自然に排除されますが、ウイルスが排除されずに持続感染状態となりその中から子宮頸がんの前がん病変が発生すると考えられています。子宮頸がん予防ワクチンは、15種類ほどあるHPVのうち2種類のHPVに効果のあるワクチンですが、国では事業の対象者を、HPVに未感染がほぼ確実に期待でき、ワクチンに対する免疫反応が良好で、接種の意義も理解可能な中学1年～高校1年に設定しています。

町でも当初、国の方針に準じて事業の対象者を中学1年から高校1年としましたが、町民の皆さまからいただいた

ご意見や町内の医師のご指導から、**子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の助成対象を平成22年度高校2・3年生にあたる年齢まで拡大すること**にしました。この理由として、一人でも多くのかたがワクチン接種を受けることで子宮頸がんの予防効果が期待されること、親元を離れる機会が多くなる年齢のかたが、女性として健康で自立した人生を送るために、このワクチンの接種をきっかけにご自身の将来について考えたり、ご家族や友人などと話をするきっかけにしたいと考えるとことから接種費用の助成対象を拡大しました。

対象のかたには個別にご案内いたします。ワクチンについての説明をお読みになり、その効果や副反応等についてご理解のうえ、接種をご検討ください。

■担当・問い合わせ
健康福祉課健康推進係
(☎86-0210)

■広報直通便への問い合わせ
総務課情報係
(☎85-6121)